文教警察企業常任委員会資料

令和３年９月１６日～２１日

教　育　委　員　会

目　　次

【議案】

○議案第12号　財産の取得について ---------- 1

【報告事項】

○　家庭教育を支援するための施策の実績等（令和２年度）について -- 2

【その他報告事項】

○　教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の報告書について -------- 4

○ 宮崎県「教育の情報化」推進プラン（素案）について ---------- 8

○ 第４５回全国高等学校総合文化祭の結果について ---------- １０

○ 宮崎県立特別支援学校教育整備方針の策定について ---------- １２

○ 令和３年度全国中学校体育大会の結果について ---------- １３

○ 令和３年度全国高等学校総合体育大会の結果について ---------- １４

【議案第１２号】

財産の取得について

高校教育課

１　目的

県立高等学校及び県立中等教育学校の低所得世帯の生徒に対し、ＩＣＴを活用した効率的かつ効果的な教育活動の実施に必要な環境を整備するため

２　取得する財産

タブレットＰＣ（３，４００台）

３　取得価格

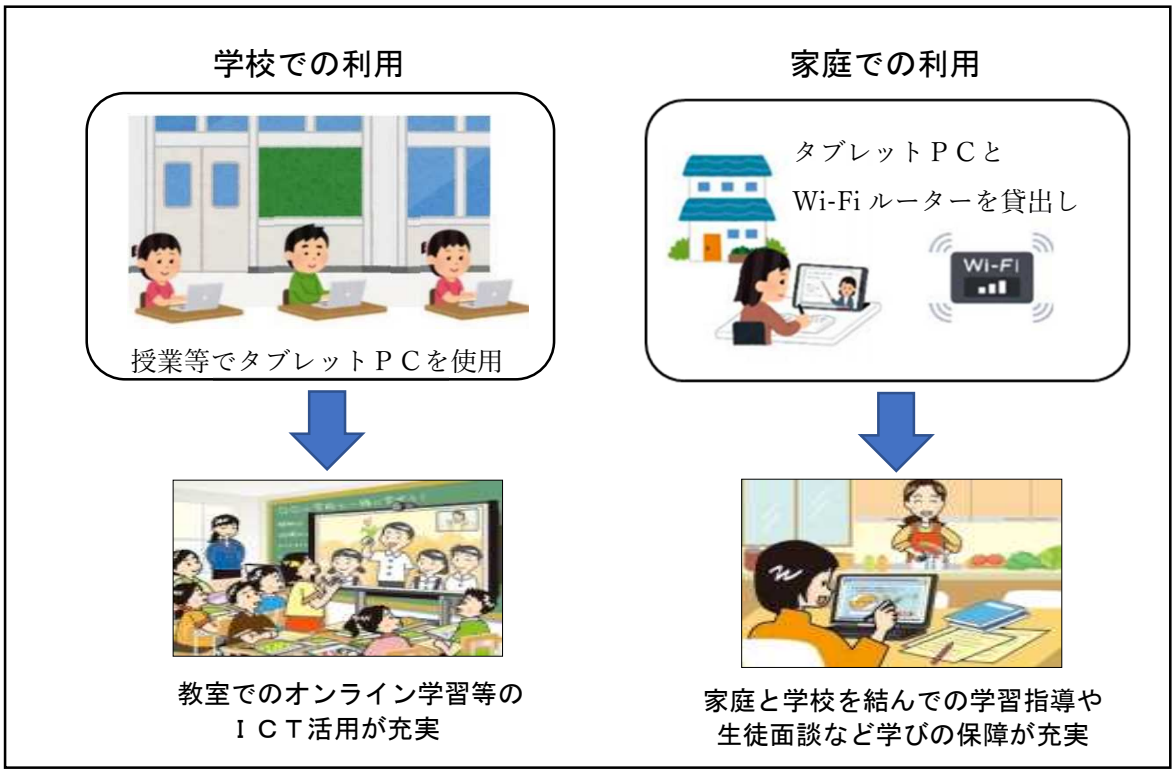
１５２，９６６，０００円（消費税込み）

（契約の相手方：富士電機ＩＴソリューション株式会社）

４　契約の方法

一般競争入札

＜参考＞　　活用のイメージ



【報告事項】

家庭教育を支援するための施策の実績等について

生涯学習課

１　報告の根拠

宮崎県家庭教育支援条例（平成28年３月23日条例第34号）

第18条（年次報告）

　知事は、家庭教育を支援するための施策を取りまとめるとともに、その実績について、毎年度、議会に報告し、公表するものとする。

２　報告の内容

令和２年度に実施した施策の実績（別添報告書）

　第11条から第16条に示された６つの条文に沿って整理している。

第11条（親になるための学びの支援）

第12条（親としての学びの支援）

第13条（多様な家庭環境に配慮した支援及び関係者間の連携強化）

第14条（人材の養成等）

第15条（相談体制の整備、充実等）

第16条（広報及び啓発）

３　その他

令和３年度に実施する施策の状況（事業一覧）

令和3年度に実施する施策の状況（事業一覧）：20課・室52事業（内再掲16）

条例	条文の内容	教育庁	知事部局	警察本部
第11条	親になるための学びの支援	○高校から広がる共生社会推進事業 【特別支援教育課】 ○みやざき家庭教育サポート推進事業 【生涯学習課】	○健やか妊娠サポート事業 【健康増進課】 ○未来みやざき子育て県民運動推進事業 【こども政策課】 ○みやざき食の安全・食育連携強化推進事業 【農業流通ブランド課】	
第12条	親としての学びの支援	○みやざき家庭教育サポート推進事業（再掲） 【生涯学習課】 ○ひなたセーフティプロモーションスクール推進事業 【人権同和教育課】	○医療従事者確保のための救急医療利用適正化推進事業 【医療薬務課】 ○未来みやざき子育て県民運動推進事業（再掲） 【こども政策課】 ○乳児家庭全戸訪問事業 【こども家庭課】 ○次代へつなげよう！魅力ある川・海づくり事業 【河川課】	
第13条	多様な家庭環境に配慮した支援及び関係者間の連携強化	○地域と学校の絆を育む体制整備推進事業 ○みやざき家庭教育サポート推進事業（再掲） 【生涯学習課】 ○チーム学校で子どもを支える教育相談体制推進事業 【人権同和教育課】	○災害対策本部総合対策部室の見学受入れによる防災学習の実施 【危機管理課】 ○「子どもたちの夢・挑戦」応援事業 ○生活困窮世帯の子どもに対する学習・生活支援事業 【福祉保健課】 ○地域子育て支援拠点事業 【こども政策課】 ○青少年健全育成条例運営事業 ○青少年健全育成強化推進事業 ○体罰は絶対に許さない社会づくり事業 ○子どもをまもる地域ネットワーク育成強化事業 【こども家庭課】 ○「こどもエコチャレンジ施設」認定制度 【環境森林課】 ○木育活動支援 【山村・木材振興課みやざきスギ活用推進室】	○少年サポートセンター運営事業 【少年課】
第14条	人材の養成等	○みやざき家庭教育サポート推進事業（再掲） 【生涯学習課】	○「子どもたちの夢・挑戦」応援事業（再掲） 【福祉保健課】 ○発達障がい者家族相談員養成等事業 【障がい福祉課】 ○みやざき食の安全・食育連携強化推進事業（再掲） 【農業流通ブランド課】	
第15条	相談体制の整備、充実等	○電話相談事業・チーム学校で子どもを支える教育相談体制推進事業 【教育政策課・人権同和教育課】 ○みやざき学び応援ネット ○みやざき家庭教育サポート推進事業（再掲） 【生涯学習課】 ○チーム学校で子どもを支える教育相談体制推進事業（再掲） 【人権同和教育課】	○男女共同参画センター管理運営委託費 【生活・協働・男女参画課】 ○生活困窮者自立相談支援事業 【福祉保健課】 ○子ども救急医療電話相談事業 【医療薬務課】 ○健やか妊娠サポート事業（再掲） 【健康増進課】 ○子ども・若者支援促進事業 ○児童家庭支援センター設置運営事業 【こども家庭課】	○少年サポートセンター運営事業（再掲） ○未来を担う少年育成のためのスクールサポーター事業 【少年課】
第16条	広報及び啓発	○みやざき学び応援ネット（再掲） 【生涯学習課】	○男女共同参画センター管理運営委託費（再掲） ○金融トラブル等防止対策事業 ○消費者行政活性化事業 【生活・協働・男女参画課】 ○「子どもたちの夢・挑戦」応援事業（再掲） 【福祉保健課】 ○青少年健全育成条例運営事業（再掲） ○青少年健全育成強化推進事業（再掲） 【こども家庭課】 ○働き方改革促進事業 【雇用労働政策課】 ○動物愛護センターを活用した動物愛護思想の普及啓発推進事業 【衛生管理課】	○命の大切さを学ぶ教室 【県民広報課】 ○少年サポートセンター運営事業（再掲） 【少年課】

【その他報告事項】

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書について

教育政策課

１　概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第２６条の規定により、教育委員会は、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」（以下「点検・評価」という。）を行い、その結果を議会に提出するとともに、公表することとされている。

「点検・評価」の内容としては、教育委員の活動状況をまとめるとともに、宮崎県教育振興基本計画の進行管理にも活用できるよう、全ての施策を対象とした指標・実績等の評価・分析を行っている。

２　「点検・評価」報告書　・・・・別冊資料

－報告書の構成－

第１章　令和２年度の教育委員会会議及び教育委員の活動状況
第２章　令和２年度の各施策の状況
第３章　外部有識者の意見
第４章　総括

３　作成経過及び今後の日程

３月～５月　令和２年度の取組について、事務局内での点検
６月　教育委員会での協議
７月　外部有識者会議の実施
８月　教育委員と事務局職員との協議
８月　教育委員会において令和３年度「点検・評価」を付議・決定
９月　県議会(常任委員会)に報告（今回）
１０月　県ホームページ等で公表（予定）

４　評価の基準

段　階		評　価　区　分
一次評価	二次評価	
a	A	各施策の取組に十分成果が出ている。
b	B	各施策の取組に概ね成果が出ている。
c	C	各施策の取組で目指す目安値に僅かに届いていない。
d	D	各施策の取組で目指す目安値に届いていない。

５　評価結果

Ａ評価が５施策及び３つの重点取組、Ｂ評価が５施策、Ｃ評価が３施策、Ｄ評価が２施策であった。

令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施策３、施策１４に関して学校の臨時休業や図書館等の休館、外出自粛等によりＤ評価となった。一方で３つの重点取組はＡ評価で、全体としては一定の成果が出ている。成果や課題も踏まえ、今後も令和４年度の最終目標の達成に向けて、各施策の推進に取り組む必要がある。

令和２年度　各施策の評価結果一覧

施策		推進指標及び関連指標		評価 一次	評価 二次
1	生涯学習の推進				
	1	日頃から生涯学習に取り組んでいる県民の割合		d	C
	2	子どもが規則正しく生活できていると感じる保護者の割合		a	
	3	みやざき家庭教育サポートプログラムを活用した講座数		d	
2	地域と学校の連携・協働の推進				
	1	学校が地域の意見も取り入れながら、地域と一緒に子どもを育てるための取組を進めていると捉えている地域住民の割合		d	C
	2	地域社会との連携・協働にかかわって、学校の活動において地域人材の活用を行っている学校の割合		a	
	3	保護者や地域住民による「学校関係者評価」を実施・公表し、開かれた学校づくりに取り組んでいる学校の割合		c	
	4	アシスト企業の活用数		d	
3	読書県づくりの推進				
	1	県内公立図書館の年間貸出総数		d	D
	2	読書好きな小中学生の割合		b	
	3	小中高校生の1か月の平均読書冊数	小	d	
			中	d	
			高	c	
4	幼児期の教育の充実				
	1	幼稚園・保育所・認定こども園の職員と小学校の教諭等が「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して意見交換や合同の研修会等を行っている幼児教育・保育関係施設の割合		c	B
	2	子育てに関する不安感や負担感を感じている県民の割合		a	
5	確かな学力を育む教育の推進				
	1	全国学力・学習状況調査における 本県の平均正答数（教科合計）／全国の平均正答数（教科合計）　×１００		実施無し	A
	2	「資質・能力」育成関連の研修会等参加者数		a	
	3	全国学調・みやざき学調の問題や結果資料を十分に分析・活用している割合		a	
6	人権を尊重し豊かな心を育む教育の推進				
	1	「自分には良いところがある」と思う児童生徒の割合	小	d	A
			中	d	
			高	a	
	2	「人権が尊重されている学校になっている」と思う児童生徒の割合	小	a	
			中	a	
			高	a	
	3	道徳の授業以外で、「いのち」の尊さや大切さに関する授業（活動）や取組を行っている学校の割合	小	a	
			中	a	
			高	a	
	4	県が作成した道徳教育読み物資料を道徳の時間等で活用している割合		a	
7	特別支援教育の推進				
	1	特別支援学校高等部卒業生の就職率		c	B
	2	高等学校で通級による指導を受けた生徒数		b	
8	郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育の推進				
	1	ふるさとが好きだと思う児童生徒の割合	小	d	B
			中	d	
			高	d	
	2	ふるさと学習を教育課程に位置付けている割合		a	
	3	ふるさと学習に関して、総合的な学習（探究）の時間等で地域の素材や人材を活用した取組を行っている割合		a	
	4	地域人材や産業界と連携・協働したキャリア教育に取り組んでいる学校の割合		a	

施策		推進指標及び関連指標		評価 一次	評価 二次
９	キャリア教育・職業教育の推進				
	1	将来の夢や目標を持って職業や生き方を考えている中学3年生の割合		d	B
	2	「ひなた場」参加校		c	
	3	地域人材や産業界等と連携・協働したキャリア教育に取り組んでいる学校の割合		a	
	4	県内就職率（県立高校）		a	
１０	社会の変化に対応した多様な人財を育む教育の推進				
	1	児童生徒がICT機器を授業や学習活動などで活用する場面を週に一度以上設定している教職員の割合	小 中 高	a a a	A
	2	国際理解教育（国際教育）充実のための教育活動を推進している学校の割合	小 中 高	a a a	
	3	サイエンスコンクールの作品応募総数（小学校・中学校・高等学校の合計）		d	
	4	ICT活用指導力に関する研修に参加した教員割合		a	
	5	環境教育の推進指定校		a	
１１	教職員の資質向上と学校業務の改善				
	1	授業が分かりやすいと答えた児童生徒の割合		d	B
	2	時間管理と健康管理を意識した仕事を行うことができている教職員の割合		a	
	3	研修など自己研鑽を通して、児童生徒の満足感を高めるための授業改善を行っている教職員の割合		d	
	4	働きやすい環境づくりについて学校での取組が進んでいると答えた教職員の割合	小 中 高	a a a	
１２	安全・安心な教育環境の整備・充実				
	1	子どもの安全確保のために、家庭や地域ボランティア等と行動連携を図っている学校の割合		a	A
	2	避難訓練や防災研修を地域や専門家と連携して実施している学校の割合		a	
	3	定期的にまたは必要に応じて危機管理マニュアルの見直しを行っている学校の割合	小 中 高	a b a	
１３	魅力ある多様な教育の振興・充実				
	1	一貫性のある教育推進のため異校種間の連携に取り組んでいる学校の割合	小 中 高	b d d	C
	2	中学校卒業者数に占める高等学校等進学者及び専修学校（高等課程）進学者の割合		b	
１４	文化の振興				
	1	日頃から文化に親しむ県民の割合		c	D
	2	県立美術館の年間入館者数及び講座の受講者数		d	
	3	宮崎県総合博物館の年間入館者数及び講座の受講者数		d	
	4	県立西都原考古博物館の年間入館者数及び講座の受講者数		d	
	5	県立芸術劇場入場・利用者数		b	
１５	スポーツの振興				
	1	全国体力・運動能力、運動習慣等調査において平均値が全国平均以上の調査項目の割合		実施無し	A
	2	運動・スポーツを週1回以上行っている県民の割合		b	
	3	国民体育大会（国民スポーツ大会）の総合成績（都道府県）の順位		延期	
	4	SALKOの登録者数		a	

施策		推進指標及び関連指標		評価 一次	評価 二次
重点取組1	いのちを大切にする教育の推進				
	1	道徳の授業以外で、「いのち」の尊さや大切さに関する授業（活動）を行っている学校の割合	小 中 高	a a a	A
	2	「SOSの出し方に関する教育」を行っている学校の割合	小 中 高	b a a	
重点取組2	地域と学校の連携・協働による多様な活動の充実				
	1	地域社会との連携・協働にかかわって学校の教育活動に地域人材を活用している学校の割合	小 中 高	a a a	A
	2	子どもたちが地域の行事に積極的に参加していると答えた地域住民の割合		d	
重点取組3	学校における働き方改革の推進				
	1	働きやすい環境づくりに取り組んでいると答えた学校の割合	小 中 高	a a a	A
	2	働きやすい環境づくりについて学校での取組が進んでいると答えた教職員の割合	小 中 高	a a a	

宮崎県「教育の情報化」推進プラン（素案）について

教育政策課

１　策定の趣旨

○　第５期科学技術基本計画の中で、ＡＩやＩｏＴといった先端技術の活用により国が実現を目指す超スマート社会Society5.0が提唱されており、その実現を目指し、様々な取組を推進していくことが示されている。

○　新学習指導要領では、情報活用能力を言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け、小・中・高等学校を通じてプログラミング教育の充実が求められている。また、新型コロナウイルス感染症とそれに伴う社会的影響により、１人１台端末と高速大容量の通信ネットワーク環境等の整備などＧＩＧＡスクール構想の実現に向けた動きが一層加速している。

○　今回は、上記の国の動向や本県における新たな課題、これまでの取組の検証及び課題等について整理を行い、本県における教育の情報化の方向性を示すため、推進プランを策定する。

２　推進プランの内容

(1) 計画の策定

計画の位置付けや、情報化の動向等について

(2) 学校教育のＩＣＴ化推進状況

環境整備状況やＩＣＴ活用指導力の状況について

(3) 基本目標と推進項目

自分に合った「学び」、仲間とともに深める「学び」、創造性を発揮できる新しい「みやざきの学び」の実現について

(4) 推進項目と推進体制

①「情報活用能力の育成」

全教育活動における発達の段階に応じた体系的な指導の在り方や、プログラミング教育の充実を図る。

②「教科指導におけるＩＣＴ活用の推進」

推進体制の構築や研修による教職員の指導力向上や、教育におけるＩＣＴの特性や強みの活用、ＩＣＴの特性や強みを生かした授業改善に努める。

③「校務の情報化の推進」

統合型校務支援システムの構築・改善や、セキュリティポリシー改訂など、情報セキュリティ対策を推進する。

④「新しい教育様式の確立」

対面とオンラインの併用による教育の推進や、ＩＣＴを活用した学習活動や遠隔教育等を推進する。

(5) 計画の推進

県や各学校の推進体制の在り方や、計画全体のロードマップについて

３　策定スケジュール

令和２年９月～翌３月　調査研究（ワーキンググループ）の実施

令和３年	８月	関係機関等との意見交換会 有識者（大学関係者等）、市町村教育委員会、県校長会、ICT教育推進リーダー連絡協議会、ＰＴＡ関係団体
	８月	８月定例教育委員会（素案の報告）
	９月	９月県議会定例会常任委員会（素案の報告）
	１０月	関係機関等との意見交換会
	１０月	１０月定例教育委員会（最終案の報告）
	１２月	１１月県議会定例会常任委員会（最終案の報告）

宮崎県総合計画「未来みやざき創造プラン」

Society5.0

学校教育の情報化の推進に関する法律

新時代の学びを支える先端技術活用推進方策（最終まとめ）

宮崎県情報化推進計画

宮崎県『教育の情報化』推進プラン【概要】

学習指導要領

宮崎県教育振興基本計画

中教審答申

GIGAスクール構想

教育の情報化に関する手引き

これまでの本県の情報化の取組

１　情報活用能力の育成	２　教科指導におけるＩＣＴ活用の推進	３　校務の情報化の推進
全教育活動における発達段階に応じた体系的な指導の充実、プログラミング教育の充実	教職員のＩＣＴ活用指導力の向上、ＩＣＴの特性や強みを生かした授業改善	統合型校務支援システムの構築・改善、情報セキュリティ対策の推進

これまでの教育実践・蓄積×ICT

«基本目標»

自分に合った「学び」、仲間とともに深める「学び」、創造性を発揮できる新しい「みやざきの学び」の実現

・誰一人取り残さない、ICTを活用した教育の推進

«推進項目»

情報活用能力の育成

１－１ 全教育活動における発達段階に応じた体系的な指導

①情報活用能力系統表の整備
②情報モラルに関する研修の実施

１－２ プログラミング教育の充実

①教師用研修教材の作成及び指導事例の創出
②プログラミング教育担当者を対象としたセミナーや研修
③「情報Ⅰ」において年間２０時間程度プログラミング教育を実施

教科指導におけるICT活用の推進

２－１ 推進体制の構築や研修の強化等による教職員の指導力向上

①校内推進体制の構築
②管理職向けの研修の実施
③担当者向け研修の実施
④ミライムによる情報共有
⑤資質・能力研修会における授業改革推進

２－２ 教育におけるICTの特性や強みの活用

①オンラインでの学びの充実
②ＵＤフォントの積極的利用

２－３ ICTの特性や強みを生かした授業改善

①ICTを活用する機会の確保
②情報モラルの実施

校務の情報化の推進

３－１ 統合型校務支援システムの構築・改善

(1)　県立学校の校務支援システム
①新教育課程に対応
②学校情報基盤の利用促進

(2)　市町村立学校の校務支援システム
①働き方改革の推進
②県内統一帳票による校務の効率化

３－２ 情報セキュリティ対策の推進

①セキュリティポリシーの見直し
②関係規定の整備状況等の確認・助言

新しい教育様式の確立

４－１ 対面とオンラインの併用による教育の推進

①ICTを活用した授業評価の検討
②学校外との交流の検討

４－２ ICTを活用した学習活動や遠隔教育等の推進

①生徒の通信環境の把握
②BYODによる効果検証
③オンラインミーティングの充実
④ペーパーレスの推奨

«推進体制»

(1)　重点取組としての位置付け　　(2)　県立学校の校内推進体制　　(3)　ロードマップ

第４５回全国高等学校総合文化祭の結果について

高校教育課

令和3年7月31日～8月6日開催

○　和歌山大会への総参加人数　　２０３名（２１校）

※　本県高校生は、「届けよう和の心　若葉が奏でるハーモニー」の大会テーマの下、日頃から学業との両立を図りながらひたむきに文化芸術活動に励む、全国の多くの高校生と互いの成果を確かめ、交流を深めながら活躍した。
※　総合開会式は、県代表として、日向高校２年那須あかりさんが出場した。（本年度の県高総文祭総合開会式が県北で開催されるにあたり、本年度は、県北地区の書道専門部より選出、推薦され、県の代表として参加した。）

○　入賞等

◆書道部門　　特別賞（菅公賞）･･･特別賞から５名選出
日南高等学校　3年　平原　萌衣

※上位１～１５点優秀賞、１６～５５点特別賞…特別賞のうち上位５点が菅公賞

◆放送部門　　ビデオメッセージ部門　優秀賞
宮崎日本大学高等学校　放送部

ビデオメッセージ部門　審査員特別賞
延岡星雲高等学校　放送部

※優秀賞　　ビデオメッセージ部門で８ブロック（１ブロック１２作品）中、１位の作品

審査員特別賞　優秀賞より下位で１０位程度に相当

◆写真部門　　奨励賞（上位 11 位～20 位）
宮崎南高等学校　３年　川越　あかり

第45回全国高等学校総合文化祭　和歌山大会
大会参加内訳一覧

部門名	分野	学校名	部名等	入賞	参加人数
合唱		宮崎大宮高等学校	音楽部		1 団体 17 名
美術・工芸	立体の部	宮崎学園高等学校	3年		
	平面の部	宮崎西高等学校	3年		
		宮崎大宮高等学校	2年		
		高鍋高等学校	3年		
		都城西高等学校	3年		
		妻高等学校	2年		6 名
書道		五ヶ瀬中等教育学校	6年		
		宮崎大宮高等学校	2年		
		日南高等学校	3年	菅公賞	
		宮崎日本大学高等学校	3年		4 名
吹奏楽		延岡学園高等学校 (尚学館中学校含む)	吹奏楽部		1 団体 45 名
写真		宮崎南高等学校	3年		
		宮崎大宮高等学校	3年		
		宮崎南高等学校	3年	奨励賞	
		佐土原高等学校	3年		
		宮崎西高等学校	3年		5 名
百人一首		宮崎大宮高等学校	3年		
		宮崎学園高等学校	3年		
		延岡高等学校	3年		
		宮崎学園高等学校	2年		
		延岡高等学校	3年		
		宮崎大宮高等学校	3年		
		都城泉ヶ丘高等学校	3年		
		宮崎大宮高等学校	2年		8 名
国際・ボランティア		宮崎工業高等学校	国際・ボランティア部		1 団体 4 名
放送	アナウンス	宮崎第一高等学校	3年		
		宮崎北高等学校	3年		
		宮崎第一高等学校	3年		
	朗読	宮崎第一高等学校	3年		
		都城泉ヶ丘高等学校	3年		
		延岡星雲高等学校	3年		
	ｵｰﾃﾞｨｵﾋﾞｸﾁｬｰ	延岡星雲高等学校			6 個人
	ﾋﾞﾃﾞｵﾒｯｾｰｼﾞ	延岡星雲高等学校		審査員特別賞	3 団体
		宮崎日本大学高等学校		優秀賞	9 名
囲碁	(主将) 団体 (副将) (三将)	宮崎西高等学校	1年		
		都城泉ヶ丘高等学校	3年		
		佐土原高等学校	3年		2 個人
	男子個人	宮崎日本大学高等学校	1年		1 団体
	女子個人	佐土原高等学校	3年		5 名
将棋	男子団体	宮崎大宮高等学校			
	男子個人	宮崎西高等学校	2年		3 個人
		宮崎西高等学校	3年		1 団体
	女子個人	佐土原高等学校	3年		6 名
器楽・管弦楽		宮崎県合同管弦楽団 (宮崎商業高等学校43名・佐土原高等学校13名)			1 団体 56 名
弁論		都城聖ドミニコ学園高等学校	3年		
		五ヶ瀬中等教育学校	6年		2 名
文芸	文芸部誌	宮崎西高等学校	3年		
	散文	宮崎西高等学校	3年		
	詩	宮崎商業高等学校	2年		
	短歌	宮崎西高等学校	3年		
	俳句	宮崎商業高等学校	3年		5 名
日本音楽		宮崎大宮高等学校			1 団体 11 名
郷土芸能		福島高等学校			1 団体 8 名
新聞		宮崎大宮高等学校 都城泉ヶ丘高等学校			1 団体
自然科学	研究発表　物理部門	都城泉ヶ丘高等学校	物理部		
	研究発表　化学部門	都城泉ヶ丘高等学校	化学部		
	研究発表　生物部門	都城泉ヶ丘高等学校	生物部		
	研究発表　地学部門	宮崎北高等学校	科学部地学班		5 団体
	ポスターパネル発表	宮崎北高等学校	科学部生物班		10 名

宮崎県立特別支援学校教育整備方針の策定について

特別支援教育課

１　策定の趣旨

○　障害者の権利に関する条約等により、障がいのある子供の自立と社会参加を見据え、インクルーシブ教育システムを構築し、一人一人の教育的ニーズに的確に応える連続性のある多様な学びの場の整備が求められている。

○　特別支援教育に関する理解や認識の高まり等により、特別支援学校の在籍者が増加し、セーフティネットとしての役割も重視される中、中央教育審議会答申（令和３年１月２６日）においても、教室不足等の解消に向けた集中的な施設整備の推進が求められている。

○　このため、国の教育振興基本計画、県の総合計画や教育振興基本計画等を踏まえ、現行のみやざき特別支援教育推進プラン（改訂版）における特別支援学校の計画的な教育環境の整備について、令和４年度から１３年度までの１０年間を対象とした整備方針を策定する。

２　これまでの経緯

平成２１年　宮崎県特別支援学校総合整備計画の策定
平成３０年　みやざき特別支援教育推進プラン（改訂版）の策定
令和　２年　宮崎県学校教育計画懇話会報告
令和　３年　宮崎県学校教育計画懇話会諮問

３　内容

(1) 整備の基本方針
(2) これまでの特別支援学校整備の経緯
(3) 特別支援学校の現状と課題
(4) 特別支援学校の教育整備方針の内容

４　今後の予定

令和３年１０月　宮崎県学校教育計画懇話会「最終まとめ」報告
　　１１月　１１月定例教育委員会（素案の報告）
　　１１月県議会定例会常任委員会（素案の報告）
　　１２月　パブリックコメント
令和４年　２月　２月定例教育委員会付議・決定
　　３月　２月県議会定例会常任委員会報告

令和３年度全国中学校体育大会の結果について

スポーツ振興課

日　程：令和３年８月１７日から２６日まで
開催地：関東ブロック

【 団　体 】（入賞数：１競技１種目）

No.	競　技　名	種　目	学　校　名	成　績
1	ソフトテニス	男　子	大　　塚	ベスト８

【 個　人 】（入賞数：２競技５種目）

No.	競　技　名	種　目	氏　名（学校名）	成　績
1	柔　　道	女子個人４０kg級	植田　こころ（宮崎日大）	２　位
2	陸　　上	共通男子四種競技	三森　咲大朗（南：延岡）	５　位
3	陸　　上	共通男子棒高跳	結城　咲翔　（木　　花）	８　位
4	柔　　道	男子個人５０kg級	落合　栄斗　（日章学園）	ベスト８
5	柔　　道	男子個人５５kg級	中丸　理輝　（五 十 市）	ベスト８

【 ベスト８以上の入賞数及び団体数 】（令和２年度開催中止）

	平成２９年度			平成３０年度			令和元年度			令和３年度		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
団体	2	0	2	5	1	6	3	0	3	1	0	1
個人	3	1	4	3	2	5	0	1	1	4	1	5
合計	5	1	6	8	3	１１	3	1	4	5	1	6

【 優勝数 】

	平成２９年度			平成３０年度			令和元年度			令和３年度		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
団体	0	0	0	2	0	2	1	0	1	0	0	0
個人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	2	0	2	1	0	1	0	0	0

令和３年度全国高等学校総合体育大会の結果について

スポーツ振興課

日　程：令和３年７月２４日から８月２４日まで
開催地：北信越ブロック

【団　体】（入賞数：８競技１０種目）

No.	競技名	性別	学校名	成績	備考
1	空手道（組手）	男	宮崎第一		
2	ボクシング	男	日章学園	１位	学校対抗得点
3	カヌー	女	宮崎商業		学校対抗得点
4	カヌー	男	宮崎大宮	２位	学校対抗得点
5	バレーボール	女	都城商業	３位	
6	バレーボール	男	日南振徳		
7	ソフトテニス	男	都城商業	５位	
8	剣道	男	高千穂		
9	弓道	女	延岡学園		
10	新体操	男	小林秀峰	８位	

【個　人】（入賞数：１０競技５２種目）

No.	競技名	性別	種目	氏名（学校名）	成績
1	ボクシング	男	ピン級	金谷　成留（日章学園）	
2	ボクシング	男	ライト級	山川　健太（日章学園）	
3	ボクシング	男	ミドル級	瀬井　りゅう一（日章学園）	
4	剣道	男	個人	荒木　千葵（日章学園）	
5	カヌー	男	C-2（500m）	保田・末安（宮崎大宮）	１位
6	カヌー	女	WK-4（500m）	山本・志水・横山・奈須（宮崎商業）	
7	カヌー	男	C-2（200m）	保田・末安（宮崎大宮）	
8	カヌー	男	K-1（200m）	上野　舜也（宮崎大宮）	
9	カヌー	女	WK-4（200m）	山本・志水・横山・奈須（宮崎商業）	
10	ボクシング	男	フライ級	山下　学人（日章学園）	
11	ｳｴｲﾄﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ	男	67kg級トータル	細屋　陽太（小林秀峰）	
12	ｳｴｲﾄﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ	女	49kg級トータル	萱嶋　柚葉（小林）	
13	ｳｴｲﾄﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ	男	67kg級ｸﾘｰﾝ&ｼﾞｬｰｸ	細屋　陽太（小林秀峰）	
14	ｳｴｲﾄﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ	女	49kg級ｸﾘｰﾝ&ｼﾞｬｰｸ	萱嶋　柚葉（小林）	
15	陸上競技	男	4×100mR	星田・杉田・中原・藤本（宮崎工業）	２位
16	カヌー	男	C-1（500m）	美坂　優宙（宮崎商業）	
17	カヌー	女	WK-2（500m）	山本・志水（宮崎商業）	
18	自転車競技	女	ケイリン	年見　穂風（都城工業）	
19	自転車競技	男	個人ﾛｰﾄﾞﾚｰｽ（89km）	藤村　一磨（都城工業）	
20	陸上競技	女	100mH	高見　冬羽（宮崎商業）	
21	柔道	男	73kg級	花岡　晴琉（延岡学園）	
22	柔道	男	90kg級	髙橋　麟大郎（延岡学園）	３位
23	空手道	男	個人組手	久保　雅人（宮崎第一）	
24	カヌー	男	K-4（500m）	上野・松本・柿本・村橋（宮崎大宮）	
25	自転車競技	女	500mTT	年見　穂風（都城工業）	

26	少林寺拳法	男	組演武	田中・築地（都城工業）	４位
27	ｳｪｲﾄﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ	男	67kg級スナッチ	細屋　陽太（小林秀峰）	
28	ｳｪｲﾄﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ	男	89kg級スナッチ	森岡　拓未（小林秀峰）	
29	ｳｪｲﾄﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ	女	49kg級スナッチ	萱嶋　柚葉（小林）	
30	自転車競技	女	500mTT	岩元　美佳（都城工業）	
31	カ　ヌ　ー	男	K-4（200m）	上野・松本・柿本・村橋（宮崎大宮）	
32	ボクシング	男	ライトフライ級	奈須　征覇（日章学園）	５位
33	ｳｪｲﾄﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ	男	89kg級トータル	森岡　拓未（小林秀峰）	
34	ｳｪｲﾄﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ	男	89kg級ｸﾘｰﾝ&ｼﾞｬｰｸ	森岡　拓未（小林秀峰）	
35	ｳｪｲﾄﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ	女	55kg級ｸﾘｰﾝ&ｼﾞｬｰｸ	安影　奏恵（小林）	
36	柔　　道	女	52kg級	福永　葉子（宮崎日大）	
37	カ　ヌ　ー	男	K-2（500m）	上野・村橋（宮崎大宮）	
38	カ　ヌ　ー	男	K-2（200m）	上野・村橋（宮崎大宮）	
39	自転車競技	男	4000m速度競走	堀北　大和（都城工業）	
40	自転車競技	男	4000m団体追い抜き	永野・屋口・有満・藤村（都城工業）	
41	レスリング	男	125kg級	岩澤　歩（宮崎工業）	
42	レスリング	女	47kg級	河野　愛琳（都城西）	
43	ｳｪｲﾄﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ	女	55kg級トータル	安影　奏恵（小林）	６位
44	陸上競技	女	走り高跳び	那須　美咲（宮崎商業）	
45	カ　ヌ　ー	男	C-4（500m）	保田・末安・早永・溝口（宮崎大宮）	
46	カ　ヌ　ー	男	C-1（200m）	美坂　優宙（宮崎商業）	
47	ｳｪｲﾄﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ	女	59kg級スナッチ	梯　奈奈（小林）	７位
48	カ　ヌ　ー	男	C-4（200m）	保田・末安・早永・溝口（宮崎大宮）	
49	自転車競技	女	ケイリン	岩元　美佳（都城工業）	
50	ｳｪｲﾄﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ	女	59kg級トータル	梯　奈奈（小林）	８位
51	カ　ヌ　ー	女	WK-1（200m）	山本　愛実（宮崎商業）	
52	カ　ヌ　ー	女	WK-2（200m）	山本・志水（宮崎商業）	

【参考資料】

※ベスト８以上入賞者数及び団体数（令和２年度開催中止）

	平成２９年度			平成３０年度			令和元年度			令和３年度		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
団体	６	０	６	７	３	１０	９	３	１２	７	３	１０
個人	１０	７	１７	２３	１１	３４	２３	８	３１	３２	２０	５２
合計	１６	７	２３	３０	１４	４４	３２	１１	４３	３９	２３	６２

※優勝数

	平成２９年度			平成３０年度			令和元年度			令和３年度		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
団体	２	０	２	１	０	１	１	０	１	２	１	３
個人	１	０	１	１	１	２	０	０	０	７	２	９
合計	３	０	３	２	１	３	１	０	１	９	３	１２